

The library news

夢の図書館

12月号(師走) (第202号) 2018年12月14日発行

夢野台高校図書委員会編集B

こんにちは。クリスマスがやってきました。それも、平成最後のクリスマス。

クリスマスといえば、プレゼント。図書委員長の私のところには、サンタは来てくれないので、(涙)自分へのクリスマスプレゼントとして、私は夢の図書館で本を借ります。みんなも自分へのクリスマスプレゼントに、夢の図書館で本を借りて、一足先に『クリスマス』を味わってみては如何ですか。

(S.H)

図書委員のおすすめ本



「ココロ」

夏目 漱石 著



夏目漱石の代表作のひとつです。

個人的に、中高生の頃には色々な恋愛をしようと思っています。恋愛小説である「ココロ」主人公の「私」(≡先生)の「心」の内もよくわかるのではないのでしょうか。

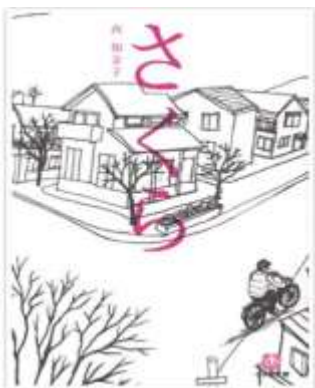
「人は裏切られても傷つきますが、裏切っても傷つきます」

因みに、2年次の現文Ⅱで習います。

(2年 S.H)

「さくら」

西 加奈子 著



この本は、長谷川家の次男、薫を主人公とした物語です。

温かい家族にある事件をきっかけに家族が崩壊していくさまが淡々と描かれていきます。その中でも唯一変わらない「さくら」。著者の西加奈子さんの心情描写が凄く心に響きます。

(

(2年 Y.N)



「レインツリーの国」

有川 浩 著

一人の男性と聴覚障害者である女性が、ある一冊の本を通して知り合いメールをする仲になる。次第にお互いが気になる存在になり、傷つきあいながらも愛情を深めていく物語です。片思いだからこそ、共感でき切なくも心温まる恋愛小説です。一度手にとって見てください。

(H.K)



「小説 太宰治」

壇 一雄 著

太宰治と友人として、共に過ごし同じ無頼派として数々の名作をうみだしてきた、壇一雄の作品の一つです。この作品は、太宰治だけではなく著者の壇一雄の日々も描かれています。太宰治という人物を壇一雄から見て感じたことがはっきりと記されています。

(S.K)



「くちびるに歌を」

中田 永一著

長崎県のとある中学校。合唱部顧問、松山ハルコが産休にはいるため、臨時教員でハルコの同級生でもあった柏木ユリに合唱部の指導を依頼する。その後、部員同士や柏木ユリと生徒の間に軋轢が生じるも、柏木が部員にある宿題を出したことにより、わだかまりは解消され長崎県大会に挑む物語です。

映画化・漫画にもされている作品です。

(M.H)

